

ポストコロナを見据えた管外報告書

2022 年 7 月 4 日(月)

神戸市会議員 山本のりかず

- 日時：2022 年 6 月 30 日(木)10:00～10:30
- 場所：東京都豊島区池袋 IKE BUS(イケバス)
- 目的：神戸市都心部の回遊性や公共交通問題、神戸経済の活性化の観点等から、電気車両などを活用することで、神戸の発展に資する政策を提案していくため。
- 内容：2019 年 11 月から JR 池袋駅から豊島区役所を經由して周辺地域を回遊する電気車両で、外観と内装はデザイン性に優れ、地域住民が普段使いで利用できるのはもちろんのこと観光客にも乗車していただける工夫をしている。また、環境に配慮した電気車両であるとともに 20 分間隔で運行し、時速 19 km/h 以内で、車内は窓を開けて走行しており(後部座席は後ろ窓側が全開)、外の景色をゆっくり楽しめるルートとなっている。



■所見：現場乗車する際は、遠くからも電気車両が把握できる色合いで近づくにつれてワクワク感を実感することができる電気車両でした。車内は、椅子のデザインが洗練されており車両とマッチした雰囲気醸し出しつつ、走行すると窓を開けているので風を感じることができ、爽快感があった。平日の午前中に乗車したため乗客は数人程度でしたので、電気車両運行に伴う採算性が課題ではないかという印象があり、休日を含めた国内外を問わず観光客の乗車数を上げていくことが必要ではないかと考えます。神戸の都心部では、シティループが運行していますが、イケバス運行との違いは坂道も一部運行ルートに入っており、環境型車両の導入には、車両の大小により動力性の課題があります。一方で、デザイン性に関しては、参考になる箇所が多々あるため、今後の新規車両導入に際してのポイントになるのではないかと考えます。



※10台ある車両の内、1台は黄色の車両。内装は1台ごとに異なり、こだわりがある車両となっている。

- 日時：2022年6月30日(木)12:00～12:45
- 場所：東京都江東区 東京ビックサイト内
- 目的：観光庁主催のポストコロナを見据えた地域の観光づくりを参考にする
とともに、神戸の観光政策に資する政策展開につなげるため。
- 内容：全国で少子超高齢化が進む中、コロナ前とコロナが蔓延している期間で
の観光分野での全体消費額を把握するとともに、観光庁が推進するDMO(観光地
域づくり法人)の趣旨説明あり。DMOとは、地域の多様な関係者に参画してい
たきながら、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役と
なる法人です。失われた観光需要を取り戻すためにも「地域に眠る観光資源」を
再度掘り起こし、地域ならではの観光コンテンツを造成していくことが求めら
れています。



■所見：DMO(観光地域づくり法人)は、地域の稼ぐ力を引き出しつつ地域への誇りと愛着を醸成すことを実現するための戦略を策定し、実行していく法人です。神戸では、2017年に神戸観光局が設立され、神戸観光のかじ取り役として公民連携の機能を担っている現状です。当該局では、滞在型国際観光都市として、中期ロードマップを策定しており、実務的に神戸経済の活性化に寄与することが期待される。一方で、観光庁が発表したコロナ後に国際観光してみたい国(世界12の国と地域を対象)として、日本が1位に選ばれ、清潔な国としてイメージを持たれる方が多いとのことでした。確かに、先進国を含めて東南アジアの地域における公共空間を現場で見ると、日本の国における公共空間が清潔であることが肌で感じる事ができる。全国の都市の中で神戸を選んでいただける政策を重層的に展開していく必要があります。



※自治体の公園に対して遊具設置している企業との意見交換

- 日時：2022年6月30日(木)14:00～15:30
- 場所：東京都江東区 SPORT×ART 新豊洲
- 目的：東京湾沿いの都心部エリアにおける「スマートコミュニティ」づくりを参考に、神戸の海沿いエリアの活性化につなげるため。
- 内容：新豊洲の街づくりにおいて、市民に開かれたスポーツコミュニティ形成の側面と幅広いアートの側面からそれぞれを融合させ、「共生社会」の実現を目指す現場を確認するとともに、これからの海沿いの都心部活用における着眼点を把握する。また、2014年に整備された「新豊洲の森」を東京湾付近に置くことで、海も森も感じることができるエリアとなっている。そして、新豊洲 Brillia ランニングスタジアムでは、障がい者トップアスリート育成や地域交流のハブ機能を担っており、健常者や障がい者という垣根を越えて持続可能な社会を実現している施設である。



所見：当日は、炎天下で湿度が高い中での屋外視察となりましたが、海沿いの都心部におけるまちづくりは、ワクワク感があり海の風を感じることができ、多様な体験ができる公共空間となっていました。具体的には、新豊洲エリアでは「新豊洲の森」に代表されるように海の近くにいながら緑を実感でき、スポーツやアート、バーベキューもできる幅広い施設が充実しており、あらゆる世代が楽しめる場所である。神戸では、ハーバーランドやポートアイランド、六甲アイランドなど多くの海沿いの都心部がありますが、ここまで多様な公共空間を集中形成できているとは言い難い側面があります。しかし、すべてを揃えることが難しくても、公共エリアの魅力を高めることは可能だと考えますので、選択と集中により今後の政策展開につなげていきます。

